

INTER KYOTO

インターキョウト

2004.6.30 No.22

社団法人京都府情報産業協会
発行：広報委員会

会長直言

(社)京都府情報産業協会 会長 植田 弘毅

経済・産業の発展は文明の利器の利便性の一方で、その暴走を抑止するセフティーガードとが適度な調和を保ちつつ発展するものと思っています。そういう観点から、IT業界、特に情報サービス産業は利便性のみが先行しているということでは未成熟な発展途上の産業であるとも言え、自己啓発の一つとしています。

先般、京都地検はファイル共有ソフト「Winny」の開発者を著作権法違反幫助罪で起訴しました。私はこの争点と判決に注目しています。ある日突然、「貴社のソフトが悪用されて金銭詐取事件が発生しました。このソフトが無ければこの事件は発生しなかったことが証明されたので、幫助罪で逮捕します」というようなことにはならないと思いますが、大きな一石を投じたことは確かです。

こうしたソフトの著作権や知的財産所有権、更に頻発する情報漏洩とセキュリティー対策、ISMSやISOなど、セフティーガードが社会的基盤として着々と整備され、成熟する産業への歩みを感じています。



情報 コラム

5

公衆無線インターネット「みあこネット」について

京都高度技術研究所 研究開発部 古村隆明

みあこネットは、日本サスティナブル・コミュニティ・センター、京都大学、京都高度技術研究所等が共同で行なっている公衆無線インターネット実験です。

日本にはいくつか「公衆無線インターネット」の試みがありますが、みあこネットは市民の手で自分たちの住んでいる地域を情報化しようというプロジェクトです。市民有志の負担でアクセスポイントを設置し、無線が利用できるエリアを広げており、2002年5月の実験開始からこれまでに、京都府を中心に日本全国で約300の無線基地局を設置していただいています。市民自らがつくる情報インフラ整備プロジェクトとして、みあこネットは世界に類をみない取り組みです。

みあこネットは、通信内容を暗号化して安全に通信するためのVPN (Virtual Private Network)、移動して接続先の無線基地局が切り替わっても通信を継続できるMobilIPや、IPv6などインターネットの最先端の技術をいち早く取り入れました。一般の方には安心して無線インターネットを利用していただけますし、企業や研究者には実験フィールドとして活用していただくこともできます。

みあこネットが取り組んでいる実験の一つに、視覚障害者を支援する「アクセス・ホットライン・サービス」があります。例えば、外出先で道に迷ったとか、手紙や説明書などを読みたいといった場合に、小型カメラ付きの無線端末を用いて遠隔地のヘルパーに映像を送り、ヘルパーが音声でサポートします。ほかにも、地域の病院・診療所と一般家庭を無線インターネットで結ぶ「電子カルテ」も構想しています。

みあこネットはようやく成長期にさしかかったところで、まだまだ改良を重ねる部分が残っています。参加者の力を合わせながら、成長させていきたいと考えています。 <http://www.miako.net/>

平成15年度ならびに16年度通常総会が開催されました

平成15年度 第2回通常総会 (3月26日)

決意も新たに、“新生”京情協がスタート

去る3月26日(金)、平成15年度活動の総括となる「第2回通常総会」が平安会館において開催されました。平成16年度の事業計画案並びに予算案の審議が進められ、いずれも原案どおり承認。その後、任期満了にともなう理事及び監事が選出され、北村前会長が退任、新たに植田新会長が就任されました。

総会に引き続いて交流会が開催され、なごやかな雰囲気の中で会員相互の親睦が深められたようです。



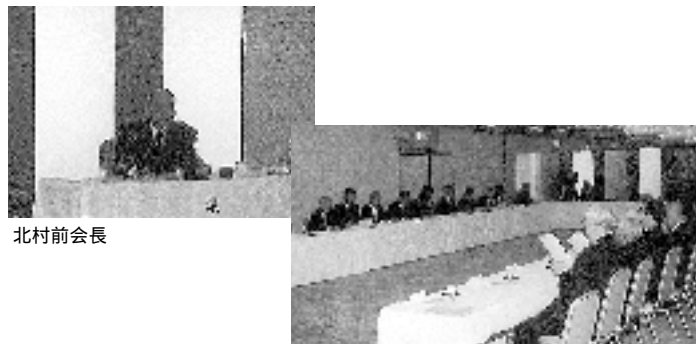
平成16年度 活動基本方針

設立後、満3年を経過し、協会の設立理念である「地域社会への貢献」に寄与できる組織運営が徐々に定着してきました。平成16年度は、協会の知名度向上を図りつつ、研究調査事業による啓蒙活動、ま

た地域産業界の課題にも積極的に取り組み、協会活動に賛同いただける関連諸団体や機関、企業との連携を意欲的に構築していきます。



交流会



北村前会長

平成16年度新体制 (敬称略)

会 長(理事)	植田 弘毅 (京都電子計算(株))
副会長(理事)	北山 寛巳 (けいしんシステムリサーチ(株)) 長谷川 亘 (京都コンピュータ学院) 畑山 正雄 (株)京信システムサービス)
理 事	河合 康博 (アド・プロヴィジョン(株)) 洲崎 行男 (株)キャリアネットワーク京都) 田中 正道 (シーク電子工業(株)) 中筋 格 (竹菱電機(株)) 古川 峰生 (株)総合システムサービス) 松本 慎吾 (島津エス・ディー(株))
監 事	池田 達夫 (ワールドビジネスセンター(株)) 井上 太郎 (株)スリーエース)
名誉会長	白石 雪翁 (京都電子計算(株))
顧 問	北村 昱 (島津エス・ディー(株)) 田中 義則 (日本コンピュータファシリティ(株))

京都府のIT施策について

伊藤 秀一氏 (京都府企画環境部 IT政策監)

京都府では、全国トップクラスの2.4ギガの幹線を整備し、府内の小・中・高・大学、研究機関を結ぶ「京都デジタル水ネットワーク」に取り組むなど、地域の情報通



信環境の向上に努めてきました。平成16年度は、地方税電子申告や公共事業電子入札など、電子府庁の推進によって府民本位の効果的な行政を実現したいと考えています。また、京都周辺に集積する多様な産業・学術・京都ブランドを生

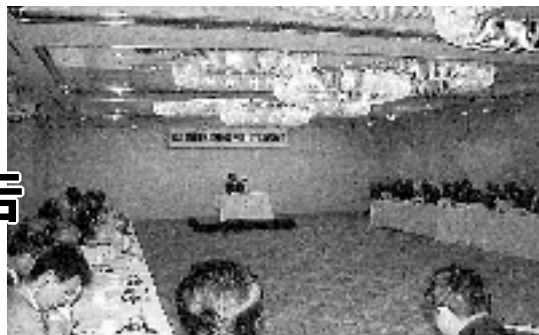
平成16年度 第1回通常総会 (5月27日) 協会の活動基盤の礎を構築 —事業実績と決算報告

平成16年度の初頭を飾る第1回通常総会が、5月27日(木)平安会館において開催されました。開会に先立ち、京都府企画環境部の伊藤秀一氏、京都市情報政策課の豊田博一氏をお招きして記念講演会を実施。高度情報化推進のためのIT施策などについて、多方面からご意見をうかがいました。

通常総会では、植田新会長の議事進行のもと、平成15年度事業報告・決算報告、会計監査報告が行われ、いずれも滞りなく承認されました。また、平成16年度の各委員会委員長、事業推進委員会委員の報告があり、協会の更なる発展を目指して各委員長から改めて決意表明が行われました。

平成15年度活動概要(要旨)

平成15年度は、協会の知名度向上と連携事業の取り組み、研究調査事業からの事業企画、地域産業界の課題のとりまとめ、事業成果の発信などを中心に活動しました。時機を得た問題提起につながるオープンセミナーの開催とケータイ国際フォーラムの企画実行への参画、また「障害者のパソコンリテラシーに関するアンケート調査」を踏まえて、問題提起をするべく調査書を発行するなど、協会知名度の向上とともに事業成果の発信を果たすことができました。その一方で、委員会の参加メンバーの減少は問題を含んだままです。各委員会の充実は協会活動の源泉であることから、会員各位のご協力とご理解をお願いいたします。



植田会長

平成16年度第1回理事会を開催

総会に先立ち、5月18日(火)午後2時から平安会館(金閣の間)にて、第1回理事会が開催されました。



● 平成16年度 第1回通常総会 記念講演会

かした「京都ITバザール」を形成し、将来有望なIT産業の誘致を目指していきます。西陣の保有する町家や伝統デザインを有効活用した「西陣SOHO推進Project」や、ケータイを使ったアテンダントサービス「観光都市KYOTOケータイサポート」など、ユニークなIT施策を行っていきますので皆様のご協力をお願いいたします。

高度情報化推進のための京都市 行動計画 ~ e-京都21(2004版) ~

豊田 博一氏(京都市情報政策課長)

京都市では、「利便性の高い行政サービスを行う電子市役所の確立」「だれもがITの成果を享受でき



る社会の構築」など4つの目標を具現化するために、今年「高度情報化推進のための京都市行動計画 ~ e-京都21 ~」を策定しました。これまで、ホームページによる行政情報の提供、電子会議室(みやこeコミュニティ)の実施など各種施策に取り組んできましたが、今年度はJR西日本や私鉄などの交通機関、観光協会、商店街と連携しながら、ICカードを活用した商業・観光振興にも力を注ぎたいと思います。また、京都ONEの活用促進、統合型地理情報システム(GIS)の構築など、情報セキュリティにも十分に配慮しながら、情報流通基盤の整備に努めていきます。

前略、新委員長から “謹言”

会員企業の皆様へ

新たに広報・経営・技術・地域情報化、それぞれ4委員会への参加をお待ちしています。事務局までご連絡ください。



事業推進委員会 古川 峰生委員長

事業推進委員会は、協会全体の活性化が役割です。各委員会を統括する位置付けと協会全体の活性化活動を行うことであり、従来の延長上であれば統括に関わる作業はほとんど必要としないレベルです。反面、京情協が活性化するには、京情協設立趣旨の具現化の進捗状況を尺度としてはいかがでしょうか？ 設立趣意書には“我々の業

とする情報技術を通して時代に対応した「地域への貢献」を志向し、情報格差の解消を目的とした情報弱者対策に取り組むことが社会的な役割”と宣言しております。公益法人であることが全面に出て、我々の業とする情報技術を通しての精神が薄い様に感じております。築いてこられた運営を踏襲しながら、設立趣旨との関係も再度検証していきたいと思っております。



技術委員会 山本 孝委員長

技術委員会の事業には、大きく分けて「情報産業の技術力向上のための教育研修」「ソフトウェア開発技術及び利用の促進」「ソフトウェアに関する技術交流」の3つがあると考えています。会員各社におかれましては、日頃こういった情報技術の向上に取り組まれておられると存じますが、特にシステム開発部門の中間管理職者・中堅社員

の方々、プロジェクト管理やソフトウェアプロセス改善、開発効率の向上などに頭を悩ませておられると思います。そこで、今年度は会員各社の技術者が気楽に技術的議題を討論できる、「部会」的な場にしたいと考えています。また、SE交流会では「開発効率」、「品質」、「新技術」、「情報セキュリティ」をテーマに開催する計画をしています。



経営委員会 木村 道也委員長

経営委員会では、地域産業の情報化推進と府民に対する情報関連技術の啓蒙普及活動（年2回）、会員各社の経営課題を共通テーマとして情報交歓広場・経営研究会の開催（年6回）、行政（京都府、京都市、京都府中小企業総合センター、情報関連諸団体）との連携などに取り組んでいます。

これまでに、先端情報通信技術動向に関するセミナーを企画したほか、情報交歓広場・経営研究会では、「退職金制度について」「給与体系・残業手当について」など、会員各社様の経営に関する悩みを協会全体の悩みと捉えて、少しでも解決の糸口が見つかるように活動しています。会の終了とともに、いつしか「飲みにケーション」が会員同士で始まるので情報も満載です。



広報委員会 河合 康博委員長

広報委員会の役割として、京情協内部に対しての広報と、外部に対してのそれとがあります。両方に対するツールである会報「インターキョウト」を更に魅力アップし、配布先の再点検を行い、京情協の認知拡大の効率アップを行います。また、Webの掲載情報のデータ量を大幅にアップして、アクセス向上を図ります。外部に対しては、

京都を中心とする各報道機関へのニュースリリースを積極的に行います。また、内部会員企業向けには、ITナビゲーションMAPの作成を継続して進めます。これは、会員企業の保有資源を明確にし、会員間の相互協力を図ろうとするものです。今年度はこのデータを元にして、Webでの公開も行う予定です。今年度の広報委員会にご期待ください。



地域情報化委員会 馬場 喜芳委員長

地域情報化委員会の事業目的は、地域の情報化を促進することです。双方向対話が可能な映像インターネット電話、地上デジタルテレビなど、いつでも、何処でも、誰でもが情報インフラを使用できる環境になりつつある現在、京都府のデジタル疎水（2.4GB府内高速通信網）・京都イ

ンターネットエクステンジ・大学情報ネットワークなどを活用し、府内の市町村住民が有益な行政サービスの提供を通して、情報化に対して興味を持っていただくことが大切だと考えています。ワーキンググループ（WG）（消防防災・産学連携NewsML・遠隔医療情報等）は、昨年度事業を継承すると同時に、新たな企画を募集しますので、皆様のご協力をお願いします。

会員だより

会員企業、社員の皆さんのユニークな取り組みやトピックスを紹介するコーナー。
我こそはと思われる方は、自薦・他薦を問いませんので、ぜひ事務局までお申し出ください。

元氣印の企業紹介

ワールドビジネスセンター(株)

独自のサポートサービスで顧客ニーズに対応

1966年の創業以来、「お客様にいかに満足していただけるか」をテーマに、システムの受託開発やデータエントリー業務、ネットワークシステムの運用管理、保守など、付加価値の高いサービスを提供してきたワールドビジネスセンター。最近、同社が力を注いでいるのが、「コンピュータサーバのホスティング・ハウジングサービス」です。SEが監視する専用スペースに顧客用のサーバを設置。データのバックアップやオプションソフトのインストール、アカウントの追加・削除、障害発生時の対応など、手間ひまコストのかかるシステム運用の一部を引き受けようというもの。100Mの光高速インターネット回線を使用しているので、アクセスが非常にスムーズなのも魅力です。問合せが殺到しており、また既に数社の企業と契約締結し、「システム運用の煩わしさから開放された」など好意的な意見が寄せられています。今後は、顧客向にカスタマイズした業務用ソフトの開発に取り組むなど、“顧客第一主義”を掲げるワールドビジネスセンターの挑戦はまだまだ続くようです。



京都市南区西九条東御幸田町25-2

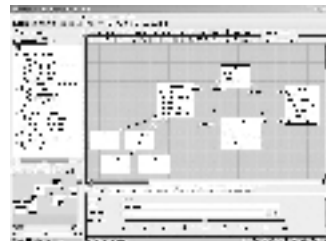
TEL 075-662-1200

URL <http://www.wbc.co.jp>

京都システムズ(株)

最新ツールの活用で付加価値のあるソフトを開発

駅務システムや金融システム(ATM)、流通システム(POS)など、制御系ソフトウェアの開発で実績を上げる京都システムズ。特に駅務システムでは、自動改札機における切符の運搬や不正使用の排除、利用客の動きなどを的確に判断するプログラムを開発。その成果は、精算機や券売機も含めて、全国のJRおよび私鉄各社に納入されています。



同社ではここ数年、C++やJavaなど、大容量のプログラムに対応できるオブジェクト指向言語を使ったシステム開発を手がけていますが、中でも力を注いでいるのがUML(Unified Modeling Language)と呼ばれる開発ツールの活用です。複雑なソフトウェアの構造を統一標準化された図表などで分かりやすく表現したもので、海外の優秀な技術者たちと、言葉の壁を超えた連携・共同開発が可能となります。

最先端の技術を積極的に導入し、常に一步先を見据えた付加価値の創造に努める京都システムズ。今後はオープン系のソフト開発も視野に入れるなど、その取り組みの領域はますます広がりつつあるようです。

京都市下京区四条通油小路西入 朝日生命京都第二ビル

TEL 075-255-2131

URL <http://www.kyo-sys.co.jp/>

我が社のイチオシさん!



竹上 真由美さん(バンテック(株)営業企画部)

夢を叶えるために、一念発起!

人生には分岐点がいくつかありますが、私にとって大きな転機の一つは25歳のときに訪れました。社会人として6年目を迎えた秋、専門校を受験したのです。子供の頃から絵を描くことが好きで、高校の頃は美大に進学して教師になることを夢見たり、アニメーターに憧れていた私は、当時趣味で油絵を習っていました。もし、私がもう一度学校に行くとしたらデザインの勉強をしたいと考え、比較的授業料が安い公立の専門校を探して、その中の商業デザイン科を選びました。

専門校では、Macを使ってデザインをはじめ、写真

撮影やWebなどを学びました。そして同時に、年齢やそれまでの経歴は違っても志を同じくした仲間と楽しく過ごせた、あっという間の1年間でした。受験しなければ、多分一生関わることのない世界でした。

現在、Webデザインの職に就いて約3年。楽しくも、勉強不足を痛感している毎日です。自分の好きなことを職業にできるということは、本当に幸せなことですが、その中には少なからず苦しみも出てくるものです。しかし、悩んだり努力しながら小さな喜びをそこに見つけたと思います。

協会だより

正会員 54社
賛助会員 7社

京情協のホームページもご覧ください。
各委員会のスケジュールや議事録などが掲載されています。
会員の方でID確認が必要な場合、事務局までお気軽にお問い合わせください。
<http://www.kyojyokyo.or.jp>

ANIA関西大会レポート

事務局長 須磨 光

第26回全情連大会ANIA関西大会は、特に京情協にとって、主管の一翼を担う大会であり、会員の全員のご協力なくしては、このような全国規模の大会の企画、運営などを果たすことができないものとの思いで、皆様のご協力を仰いだものであります。お陰を持ちまして、大会期間中、盛況の中で、盛りだくさんのプログラムが消化されていき、関西の経済の力強さを全国の情報産業の企業に対して、示すことができたのではないかと思います、所期の成果を得ることができたものと喜んでおります。

大会は、平成16年6月10日(木)の前夜祭から、厳かな中に風格漂う重要文化財であります大阪市中央公会堂で始まりました。この前夜祭にも、当協会の会員企業の多くの方のご協力を得て、和やかな中にも、ANIAの全国の会員が一堂に集い、一体となる強い絆を感じさせるとともに、明日の大会に対する盛り上げも充分に図られ、盛会の中に無事終了しました。

翌日の大会は、会場をグランキューブ大阪に移して開催されました、理事会・総会のあと、多くのご来賓のご臨席をいただく中で、ANIA関西大会が開催され、中でも、大会のメインとして、平沼前経済産業省大臣から、「これからの日本」と題してのご講演をいただき、大所、高所から、中小企業が大いに力をつけて、あくまで「ものづくり」にこだわりながら、旺盛な企業家精神を生かして、力強く活動し、イノベーションでもって、一歩も、二歩も先を歩みつづけることによってこそ、地域の再生、日本の再生ができるとの力強いお言葉をいただきました。

また、パネルディスカッションにおいては、関西の元気企業が登壇して、元気企業のバイタリティを全国の会員企業に対して、発信しました。

懇親会は、ANIAの会員企業300名余りが参加され、とりわけ元気企業20社の社長が会場を盛り上げました。長谷川亘京都コンピュータ学院副理事長、馬場喜芳パンテック株式会社社長も、当協会を代表して、大いに座を盛り上げていただき有難うございました。そのあと、関西らしさを強調しようということで、河内首頭の豪快な唄と踊りで関西の力を鼓舞しながら、賑々しい中で、新しい人脈を築き、懇親を図ることができました。

最終日は、台風の余波で、少し雨が残っていましたが、早朝から、ゴルフ組と京都観光組に分かれ、ゴルフ



総会の様子

は、瀬田ゴルフの北コースで行なわれ、8組30名余りが、楽しくプレーされ、京情協からは、白石名誉会長、北山副会長が参加され、プレーに、懇親に花を添えていただきました。また、京都観光では、NHKの大河ドラマで今話題の「新選組」をテーマにした、「新選組が駆けつけた京を辿る」というキャッチコピーで、全国から、およそ50名余りの参加を得て、非公開寺院で門跡の妙法院を最初に訪れ、写真ガイド誌



京都観光

「維新前夜の京を行く・・・新選組見聞録」を提供するとともに、その著者早内氏による裏話を含めた豊富な取材資料をもとにした解説をいただき、昼食は伏見の魚三樓で、舞妓さんの踊りと

語りいと記念撮影という楽しいひと時もあり、もちろん、京料理も堪能され、至れり尽せりの企画で、参加者の皆様には大いに楽しまれたのではなかったかと思っております(自画自賛ですが...)。

最後に、畑山ANIA関西大会実行委員会委員長から会員企業の皆様のご協力を得て、第26回全情連大会ANIA関西大会が無事に終了できましたことに対して、京情協の力も発揮でき、全国のANIAの会員に対しても大いにその名をアピールできたのではないかと思います、誠に感謝していますとのことです。また、ANIAの社会長、平山事務局長からも、本大会が成功裏に終えることができましたのも、京情協の準備段階から、最終日までの真摯なご協力の賜物と、大変感謝されておりました。この紙面をお借りして、お伝えします。

新入会員の紹介

正会員 (2004年3月入会)

株式会社アクティブネット

代表者名: 相原 康孝

所在地: 〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93
京都リサーチパーク6号館302号
TEL.075-326-0260 FAX.075-326-0266

株式会社ディ・エス・ソフトウェア

代表者名: 土井 康

所在地: 〒602-0955 京都市上京区東堀川通一条上ル
堅富田町436-5 エスケーエレクトロニクス3階
TEL.075-431-6522 FAX.075-431-6524

株式会社トップシステム

代表者名: 小堂 謙一

所在地: 〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町43
メルクリオ京都2階
TEL.075-692-1970 FAX.075-692-1971

お知らせ

㈱京信システムサービス 平成16年3月「ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)適合性評価制度」の認証を取得。

京都電子計算㈱ 平成16年3月「ISO9001(品質マネジメントシステム)」の認証を取得、4月「ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)適合性評価制度」の認証を取得。

編集後記

インターキョウト22号をお届けします。平成16年度に入り、京情協の新体制がスタートしました。今年度の広報委員会は、「Webの充実」、「報道機関へのPR」、「ITナビゲーションMAPのWebへの公開」などを活動目標にしています。私たちの広報委員会も一部メンバーの交代があり、新たな体制になりました。インターキョウトをより魅力のある会報誌にするよう、委員全員で力を合わせて積極的に活動していきますので、どうぞよろしく願います。(広報委員)